

2020年4月17日

通貨ニュース

南アフリカ: 金融政策委員会を緊急開催、 100bp の追加利下げを決定

南アフリカ準備銀行(中央銀行、SARB)は 14 日、5 月に予定していた金融政策委員会を前倒しで開催。政策金利(レポ金利)を 100bp 引き下げて過去最低水準となる 4.25%とすることを、全会一致で決定した。3 月に開催された前回会合(100bp の利下げ)に続く大幅な追加利下げとなる。

前週の 9 日、ラマポーザ大統領が 4 月 16 日を期限としていたロックダウン(都市封鎖)の 2 週間延長を発表。同国でも新型コロナウイルスの感染拡大が確認されている中で判断であった。SARB は従来、ロックダウンの影響を GDP 比▲2~4%と想定してきたが、期間延長でそれを上回る可能性が高まった。商品市況の低迷によりインフレ圧力が想定以上に抑制されている中、こうした景気下押し圧力を軽減すべく、緊急追加利下げが決定されたようだ。

実際、SARB は 2020 年の実質 GDP 成長率を前年比▲6.1%と従来予想(同+0.2%)から大幅に下方修正。声明文では以下のように、ロックダウン延長の景気面の影響について懸念を示している。

Both the supply and demand effects of this extension reduce growth and deepen it in the short-term, as businesses stay shut for longer and households with income spend less. This will likely also increase job losses, with further consequences for aggregate demand.

また、財政難の同国にとって各国のような大規模な財政出動が難しいことも、大幅な追加利下げに踏み切った理由のひとつと推測される。財政状況の継続的な悪化と構造要因(電力公社の問題や硬直的な労働市場等)による弱い成長力がこれまで指摘されてきた。新型コロナウイルスの感染拡大でこうした脆弱性が増す中、3 月、唯一同国の自国通貨発行体格付けを投資適格級に維持してきた格付会社が格下げ(Baa3→Ba1)に踏み切った。

声明文では、インフレの行方を論じるなかで、以下のように同国のカントリー・リスクに言及している。

Weaker domestic growth and greater fiscal risks have resulted in a downgrade by Moody's credit rating agency and confirmation of a negative outlook by Fitch, a weaker currency and higher borrowing costs for government, banks and firms. South Africa's risk profile has increased.

かかる状況下、同国の金融政策については追加緩和含みとみておきたい。財政問題の改善は容易ではなく、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮すればなおさらだ。声明文では、次回会合が 5 月に開催されることが示唆されている。ロックダウンが再延長されるような状況なら、追加緩和の可能性はより高まろう。ZAR にとっては対ドルで上値の重い展開が続くと想定する。

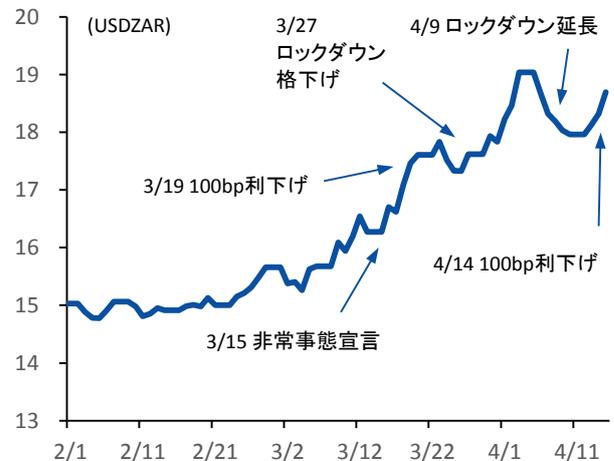
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

図表 1:政策金利とインフレ動向



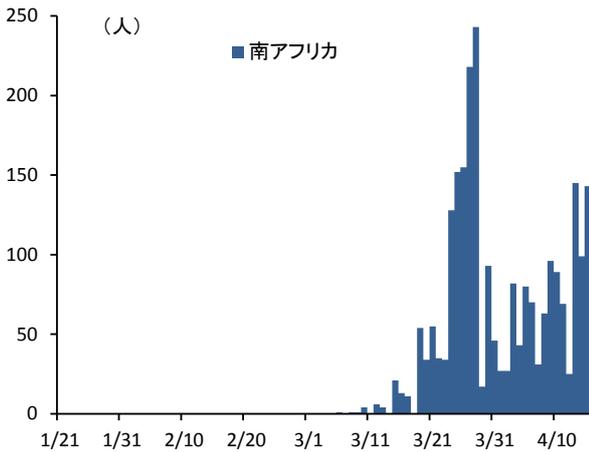
(注)SARB のインフレ目標レンジは前年比+3~6%
出所:SARB、南ア統計局、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2:南ア・ランド相場(4月15日時点)



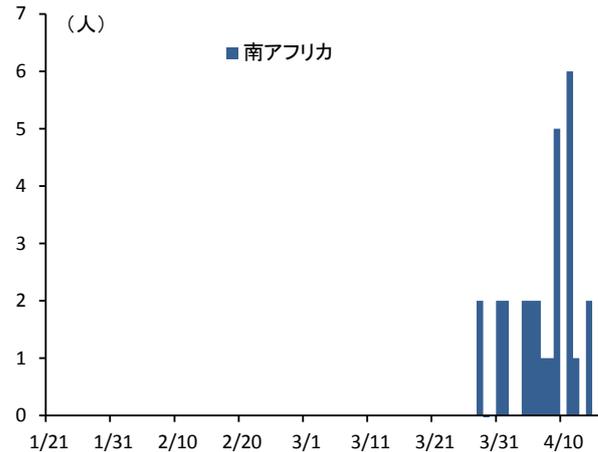
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3:南アにおける新型コロナウイルスの新たな感染者数



(注)2020年4月15日時点
出所:WHO、CEIC、みずほ銀行

図表 4:南アにおける新型コロナウイルスによる新たな死亡者数



(注)2020年4月15日時点
出所:WHO、CEIC、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。